

名古屋市立吉根中学校

第2学年 学年通信

No.12 令和5年11月29日

# きずな 絆

## 最高の仲間とは？

- ・つらいときに支え合える仲間
- ・喜びや感動を分かち合える仲間
- ・安心して自分を表現できる仲間
- ・お互いを高め合える仲間

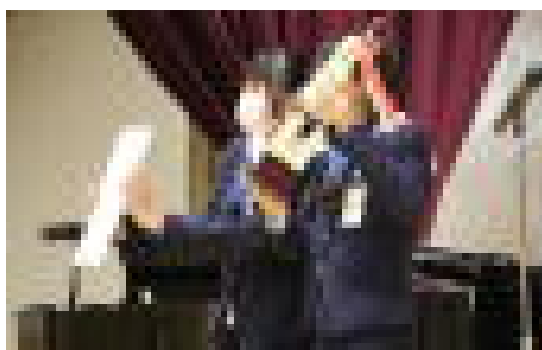
## 保護者の皆様へ

### ① 合唱コンクールについて

先日、合唱コンクールが行われました。保護者の皆様におかれましては、入場制限等でご迷惑をおかけしましたが、たくさんの方々にご参観いただき、ありがとうございました。

お聴きになった保護者の方も多いと思いますが、前号の学年通信でお伝えしたとおり、とても素晴らしく

感動的な学年合唱になりました。技術的に優れていたというよりも、学年のみんなで一つのものを作り上げようという一体感が際立っていたように感じます。また、クラス合唱も学級ごと



の良さがあり、それぞれの努力と工夫を感じ取ることができました。きっとあれだけの合唱を作り上げるには、各学級にドラマがあったことでしょう。この合唱コンクールを通して味わった思いを、今後の生活に活かしてくれることを願うばかりです。

合唱コンクールの生徒感想の一部を掲載させていただきます。ご一読ください。

<b>2年生の部 結果</b>	<b>金賞：4組</b>	<b>銀賞：3組</b>	<b>銅賞：5組</b>
-----------------	--------------	--------------	--------------

### ② 美術科教材費の集金について

11月30日（木）、12月1日（金）に、美術科で使用する教材費の集金があります。事前に配付された集金用の封筒に780円を入れて持たせてください。よろしくお願いたします。

### ③ 個人懇談会について

12月1日（金）～7日（木）に、個人懇談会があります。以下の点にご注意ください。

- ・この期間、生徒は4時間授業で昼食を食べずに下校します。ただし、懇談会の時間が早い等の理由で、校内で昼食を食べることを希望する場合は、生徒を通して担任にご連絡ください。
- ・控え室は、作品展開催中の1階ランチルームになります。立て看板等の案内にしたがってご移動ください。
- ・部活動がある場合は、基本的に15：45に再登校をして活動します。

#### ④ 職場体験学習事前訪問について

12月15日（金）の午後に職場体験の事前訪問を行います。当日に向けた事前の打ち合わせと現地確認が目的で、本校から各事業所まで、徒歩またはゆとりーとラインで移動します。当日も含めて交通費は学校が準備します。事業所によっては、帰校が6時間目終了の時間に間に合わない可能性もあります。大幅に帰宅が遅れそうな場合は、学校から連絡いたします。ご承知おきください。

#### ⑤ P T A 1 d a y サポーター（わんさぼ）募集について

本日配付させていただいた案内のとおり、職場体験学習当日のお手伝いをしていただける、P T A 1 d a y サポーター（わんさぼ）を募集いたします。案内の注意事項をお読みいただき、ご協力いただける場合は、**QRコードから申し込んでいただくか、参加票を提出していただくか、いずれかの方法でご回答ください。**よろしくお願ひいたします。

#### ⑥ 職場体験学習当日のお願い

職場体験当日の2日間は、昼食を各事業所でとります。お手数ですが、**弁当の準備をお願いいたします。**

また、保護者の方の姿を見ることで、お子様が活動に集中できなくなることが心配されるため、**ご自分のお子様は活動中の事業所には、原則行かないようお願いいたします。**活動中にお子様と連絡を取りたい場合は、学校にご連絡いただければ、学校から事業所に連絡いたします。お子様が有意義な体験をできるよう、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## 合唱コンクール 生徒の作文紹介

### 【1組】

- 最初の練習の時は自分もみんなも声が小さかったりいい声を出せていなかったりしたけれど、日々練習を積み重ねていくことで、だんだんテノールらしい声を出せるようになった。練習でいろんなことを教えてもらって、最初よりもとてもうまくなったと思う。本番の日になって緊張していたし、休みの人も何人かいたけれど、自分なりに頑張れた！残念ながら賞を取ることができなかったけど、2-1らしく歌うことができてよかったです！！
- 初めてみんなで合わせたとき、大丈夫かな、という不安がありました。気づけば本番1週間前になっていたし、他のクラスから聞こえる声はとてもきれいでした。ですが、先生や実行委員の人がハッキリ言ってくれたことにより、ガラッと空気が変わった気がしました。結果としては良い賞は得られなかったけれど、練習期間は無駄ではなかったと思います。実行委員として残って



練習計画を立てたり、どうしたら良くなるか考えたり、良い経験にもなりましたし、良い思い出にもなりました。何回も繰り返してうまくできた時の喜びや嬉しさは忘れられないし、何か今後の生活につながっていく気がしました。歌が苦手な合唱コンが嫌だと思える人は少なからずいたと思いますが、やっぱり大縄と同じでみんなで何かを作り上げることは楽しいし団結につながるなと思いました。今現在、一人一人思うことはあると思うけど、私自身としては課題だった部分は本番でしっかりできていたし、なによりも楽しんで歌えたので、悔いはないし、満足のいく合唱ができました。本番は過去1でした！！

- 最初に歌った時から格段に良くなったし、練習するたび1つずつ良いところが増えてとても面白かったです。指揮者やパートリーダー、伴奏者の人たちが気になる箇所をはっきり言ってくれて分かりやすかったし、良いところはすごくほめてくれました。特に本番で指揮者の人が笑顔で歌詞を言ってくれていて助かったのが一番印象に残っています。

## 【2組】

- 今までで一番の歌声で美しくのびやかに、そして全員の心が一つになったと思います。「絆」がより一層強くなって生まれ変わったようです。本番もそうですが、私が心に残ったことは、本番前の練習の日々です。去年は自分のことで手いっぱい、周りに目を向けられなかったのもあり、今年は前よりも内容の濃い合唱コンクールになりました。こう見ると2-2はやる気のある人とない人で極端に分かれていました。それがまとめ役の方々がいしっかりとみんなを引っ張ってくれて、だんだんとまとまっていきました。クラスの雰囲気も良くなり、楽しく、リラックスして練習に励めたと思います。3位以内に入ることはできませんでしたが、合唱コンの本来の目的はクラスの団結力を高めること。なので、これはこれでよかったのではないかと思います。
- 最初は「旅立ちの時～Asian Dream Song～」が自分の希望した歌ではなかったので、あまりやる気が出ませんでした。ですが、実行委員の人たちが合唱コンのために居残りしたり、歌が上達するポイントを丁寧に説明してくれたり、指揮を工夫してくれたり、クラスをまとめてくれたりとたくさん努力してくれているのを見て、私もその期待にこたえたいなと思いました。結果、賞は取れませんが、今まで努力した結果が無駄になったわけではないと思うし、合唱コンクールというイベントを楽しむことができたので「いい思い出になったのではないかな。」と思います。来年は中学校最後の合唱コンクールの上に最高学年なのでプレッシャーが大きくなると思います。しかし、たくさん努力することも大切だということを今回の合唱コンで学びました。なので来年は今年よりもっと行事を楽しんでいきたいです。



### 【3組】

- 2-3は、担任の先生が合唱練習についていないことが多かったので、その分さらに頑張ろう！という気持ちも強かったです。課題はたくさんありました。個人のことだけではなく、時間の管理、反省等...手いっぱいでした。でも実行委員メンバーのみんながサポートしてくれました。なかなか言いづらい意見を言ってくれたり、反省をまとめてくれたり、他にもサブリーダーや、練習する雰囲気を作ってくれる仲間が団結し、クラスを一つにしていってくれました。結果は銀賞。でも、この合唱コンクールで得たのは、銀賞だけではないと思います。いろいろな思い出があった「イワシの合コン」、おつかれ！！そしてありがとう！！
- 最初の頃は正直楽しいとは思えなかった。声は出ているけどそれだけって感じだったし、何よりも人が話しているとき、演奏中に話すとか笑うとかありえないって思った。何度リーダーが注意しても直らないし、何日たってもそうだった。自分ふくめ残って話し合いもしたし、何とかできないか考えた。指名制で当てるのが一番良かった。話さなかった子たちも挙手してきて嬉しかった。わからないところを聞いてくる子もいて「みんながんばってるな」って思えてきた。おしゃべりする子も減ってきて、一つのことに全員で向き合っている感があってすごく嬉しかった！本番をむかえて銀賞をとってももちろん嬉しかったけど、もし賞をもらえなかったとしても悔いなんて無かったと思うし、いい思い出になったはず！つまり...結論は...みんなが向き合ったからこそもらった賞であって、団結できたからこそ喜ぶことができたからすごくよかったと思っている！まとまりのかけらもなかったイワシたちが一つになれてよかった。
- アルトパートに関しては人数が少ないのもあって音量が足りていなくて、誰に聴いてもらっても「アルトパートが...」と言われてしまっていた。けれど、それでもあきらめずに頑張ってくれたアルトの子たちはすごいと思う。テノールの子たちも、気づけば「ここの音程ずれてるよね」とか話し合ってくれていて、みんなのやる気を感じていた。ソプラノは、アカペラの練習が多かったけれど、どんどんきれいになっていってソプラノメインのところがすごくきれいだった。ふざけているように見えても、実はちゃんと自分たちの課題に向き合おうとしてくれていたんだなと今となっては思う。この2-3でとった銀賞は、裏にたくさんのドラマがあった。金賞でなくて銀賞だけれど、私たち2-3にはとても大きな価値がある銀賞だった。たくさん話を聞いて助けてくれた先生方や、今まで一緒に頑張ってくれたクラスのみんなに「ありがとう」を伝えたい。この先2-3が終わるまでに、もっとみんなの絆が深まってほしい。



### 【4組】

- まずは、とにかくうれしいのが一番です。しかし実は、私は最初あまり合唱コンクールにやる気がおきていませんでした。なぜなら、こんな大人数が一致団結して優勝するなんて無理だと思っていたからです。それに4組は、正直普段から少し大人しめのクラスなので、まさかそんな大

きな声でみんな歌うとは思っていませんでした。でも、練習を重ねていくうちにみんなとても積極的になっていったし、少しずつクラスの合唱コンクールに対する思いが強くなっていくのを感じました。金賞が獲れたときは本当にうれしくて、努力して良かったと心から思うことができました。目には見えていなくても今回の合唱コンクールで深まった絆があるし、実行委員の人やクラス全員はもちろん、準備やクラス紹介の人など様々な支えがあつてこそつくることができた思い出なので、きっと忘れることはないと思います。2年生になって半年以上がたった今、残された時間でクラスとどのように関わっていくかを大切にしていきたいです。

- 10月下旬頃、合唱コン約2週間前に音楽の先生にいろいろな指摘をされてしまい、クラスの中でもみんな「3位以内もとることは難しいんじゃないか」と思っていました。ですが練習期間、指揮者や伴奏者、パートリーダーの子、その子たちだけでなく他の子たちといろいろなアドバイスをし合ったり、改善点を出し合ったり、次の練習で改善点が良くなっていたら褒め合ったりと、「絆」が深まっているということを感じながら、集中期間、クラスみんなで一つの目標に向かって頑張り始めました。そんな練習も真剣だけではなく、伴奏者が休んだ時用にCDで合わせて練習してみるも、いつもと速度が違ってものすごくズレてみんなで笑い合うなんてこともありました。合唱の並びの時、隣のアルトの子と「スマイル大事にしよ！」って言いながらほほえみ合ったこともあり、どれも本当に「With you smile」の歌詞にあった出来事だったなと思っています。そして迎えた本番。緊張もあり不安もあり舞台に立ちました。ですが、指揮者の子はいつも通りみんなにほほえみかけていて、いつも通りでいいんだという安心感があり、私まで笑顔になりました。歌い終え、不安になりながらも結果発表。結果は金賞でした！金賞の嬉しさと同時にクラスみんなが喜んでいるのもうれしさを感じ、今年一番幸せな気持ちになった気がします。このクラスのメンバーだったから金賞がとれました。このクラスで良かったなと改めて思う合唱コンでした！練習から本番、結果発表から何から何までとても素敵な思い出です！！

- みんなで一つになって歌えたい合唱だったと思う。練習の成果がとても出ていた。最初テノールがテンポや声量ともに一人歩きしていてバランスがとても悪かったけど、ソプラノ、アルトの人たちが頑張ってくれたから金賞がとれるような合唱ができたと思う。みんなで頑張っただけで見合った結果を掴み取る感覚は大人になっても大事だと思う。だから、中学の残り期間と高校の3年間でも学校の



イベントは全力で頑張っていきたい。でもしゃべるのが苦手な子やイベントが嫌いな子もいる。なので、これからはクラスの全員と仲良くなれるように全力で努力します。関わりのなかった人とも仲良くなれる道を探してイベントであいつが頑張るなら自分もやろうと思われの人を目指します。このクラスは残り短い期間しかないけど、仲良くなれるようにしていきたいので、言葉遣いやみんなとの接し方についてもっと考えていきたいです。

## 【5組】

- 「合唱コンクール」その言葉を聞いたとき、初めに私は、「いやだな、、」と思いました。なぜなら、私は小さいころからずっと歌うのが下手で嫌な思いをしてきたからです。練習だって本当はやりたくないのを必死に隠して参加していました。ところがどうでしょう。途中から一生懸命練習する仲間を見て、私も少しずつ頑張るようになってきました。だんだん仲間とがんばることを「楽しい」と思えるようになりました。成績発表でクラスの名前を呼ばれたときの高揚感はこの先ずっと忘れられない宝物になるでしょう。そして、すべて終わって家に着く頃には、もう、私の合唱コンクールに対する嫌悪感はなくなっていました。次が中学で最後の合唱コンクール。悔いが残らないよう、やり切りたいと思います。
- 最初練習した時、アルトは他のパートにつられてばかりで声が全然でなくて、ソプラノは高い音の音程がとれていなくて、テノールは地声ばかりでちょっとグダグダだったと思う。けど、少しずつ練習していくうちに、ソプラノの声は大きくなって美しい歌声になって、アルトはつられないようにアルトの音程で歌えて、テノールはきれいな歌声になって、とても成長したなど感じる。実行委員さんがクラスのためにたくさん動いてくれて、自分も頑張ろうという気持ちになれた。合唱コン当日、歌い終わったときは「強弱つけられなかったなー」とかネガティブな気持ちでいた。成績発表で最初に5組の名前が呼ばれたとき、びっくりして嬉しいとかより、「え？まじ？聞き間違いとかじゃない？」という気持ちでいた。その後、だんだん賞を獲ったということを実感してすごい嬉しかった。賞状をもらうとき、何を話すかなどみんなで喋った。その時間がとてつもなく楽しくて面白かった。クラスに戻って、「おめでとう！！」という空気になって楽しかった。そして、このクラスでよかったなど改めて感じる事ができたと思う。
- リハーサルでソプラノの声が出ていないと言われて悔しかったけど、みんな頑張っているし、強く言えなくて、賞は無理かも、、とリーダーシップがうまくとれない自分に落ち込んでいたけど、ペットボトルトレーニングをやって、みんな声量が出てきて、私がテノールをうまく聞いていなくて突っ走ってしまっていたのを、周りの声が出ることで速度が違うのに気付けたので、リーダーだけどみんなに助けられました！去年と賞の位が違っても同じくらい団結感に包まれて、気持ちが上がりました！金賞になる基準が「伝えたいことが伝わっている順」だったので、賞が獲れたということは、少しでも伝えられることができたのかな、と思いました。合唱の音などがとれているかが音楽の大切なところではなく、気持ちで勝負するという思いの強さが真の大切なことだということに気が付きました。



## 【6組】

- 私は今回の合唱コンクールの前に3つの目標を作っていました。1つ目は「クラスの人と更に仲良くなること」です。2学期の終わりが近づいているのにも関わらず、完全に心を開けるわけではありませんでした。けれど、合唱コンクールの練習をしていくたびに特に同じパートの人た

ちと前よりもたくさん話したり、教え合うぐらいの仲になることができました。2つ目は「チャレンジをすること」です。今回チャレンジしたことはクラス紹介をやったことです。文を考えた、覚えたり、それを大勢の前で言うのは苦手だったけれど、チャレンジできたのは去年でできなかったという気持ち、一番は”やりたい”という気持ちが強くあったからです。でもチャレンジしたことによってやりたかったことができたし、友達からも応援してもらえてすごく嬉しかったです。また来年もやりたいと思えるくらいにもなりました。3つ目は、「全力で楽しむこと」です。何事にも失敗はつきものです。たとえ失敗したとしても全力で楽しんでやったのなら悔いなく終わることができると思います。今回の合唱コンクールで私は紹介者の時も歌っているときもたくさん失敗したけれど、全力で楽しむことができたので良かったと思います。3つの目標が達成できてよかったです。合唱コンクールに関係なく、今後も3つの目標を達成できるよう頑張ろうと思います。

- 合唱コンクール本番でもものすごく緊張していた時、5組の曲が終わり、いよいよ僕たち6組の出番。緊張で最初の歌詞を忘れかけていた時、列で並んでいた人たちが口をそろえて「がんばろう！」と温かい言葉をかけてくれて「あ、僕は一人じゃないんだ」と思い、緊張が少しとけて精一杯歌うことができました。賞は取れなかったけれど、この合唱コンクールで賞ではなく大切なものに気づかされました。



- 最初は体育大会のように、うまくいかないのではと思っていました。「2冠をとる！」とだけ言って、練習に主体的に取り組んでいない人、口パクをしている人が何人かいたからです。合唱はクラス全員が心を一つにして歌わないといいものにはなりません。そうなるためには、たくさん練習が必要だと思いました。そんな時、パートリーダーが休んで、代わりに私が実行委員の集まりに参加しました。その集まりでは、パートリーダー、伴奏者、指揮者が参加していました。みんなクラスの歌を良くするために、一生懸命話し合っていました。そんな姿を見て、合唱コン頑張ろうという気持ちがより強くなりました。練習の時には、実行委員の人たちが声かけをしてくれて、一生懸命練習をしていました。そして、当日。その日はテノールもソプラノも休みがいて、心配になりました。みんな緊張した様子で、声を掛け合い本番に挑みました。紹介者が話し終わり、一気に指揮者の指先に注目が集まりました。伴奏が始まり、みんな同時に息を吸い、歌い始めました。教室で練習していた時よりも声が響いて、歌っていて気持ちよかったです。ですが私は、ソプラノがソロで歌うところが心配でした。休みもいて、みんな緊張で声が小さくなるかもしれない……。ソプラノのソロのところがきました。できるだけ声を出して歌ったら、びっくりしました。いつもよりみんなの声が大きかったのです。それは、普段あまり練習に主体的ではない子たちの声でした。無事、最後まで歌い切りました。優勝は難しいかもだけど、楽しんで歌うことができました。この合唱コンクールで6組はやればできるということがわかりました。みんなが本気になったとき、このクラスは一つになることができると思います。

## 2年生 12月の行事予定

日	曜	チ ャ イ ム	ランチ	行	事	A B	1	2	3	4	5	6
1	金	45	×	朝、美術科教材費集金(11月31日も)	個人懇談会(ランチなし)/作品展	A	<b>木1</b>	<b>木2</b>	<b>木3</b>	<b>木4</b>	—	—
2	土											
3	日											
4	月	45	×			B	道	月2	月3	月4	—	—
5	火	45	×			B	火1	火2	火3	火4	—	—
6	水	45	×			B	水1	水2	水3	水4	—	—
7	木	45	×			B	<b>水5</b>	<b>水6</b>	<b>火5</b>	<b>火6</b>	—	—
8	金	45	○	作品展片付け		B	金1	金2	金3	金4	金5	—
9	土											
10	日											
11	月	45	456			A	<b>月2</b>	<b>月3</b>	<b>月4</b>	<b>月5</b>	<b>月6</b>	—
12	火	45	○			A	火1	火2	火3	火4	火5	<b>金5</b>
13	水	45	○	生徒委員会15:15		A	水1	水2	水3	水4	水5	水6
14	木	45	○		マ-カ-ト予約(1月分)	A	木1	木2	木3	木4	学	—
15	金	50	○	<b>午後、職場体験事前訪問</b>		A	金1	金2	金3	金4	<b>総</b>	<b>総</b>
16	土											
17	日			家庭の日								
18	月	45	○	生徒議会15:15		B	道	月2	月3	月4	月5	月6
19	火	45	○			B	火1	火2	火3	火4	火5	総
20	水	45	○			B	水1	水2	水3	水4	水5	水6
21	木	45	○	大掃除		B	水5	水6	道	学	掃除	
22	金	式	×	終業式		B	式	学				
23	土											
24	日			冬季休業開始								
25	月											
26	火											
27	水											
28	木											
29	金											
30	土											
31	日											

↑ ○は全クラスCDランチ、数字はそのクラスがABランチでそれ以外がCDランチ